

連載コラム



みずき野と
その周辺の
植物と昆虫



第 73 回

キク科植物の花 (4)

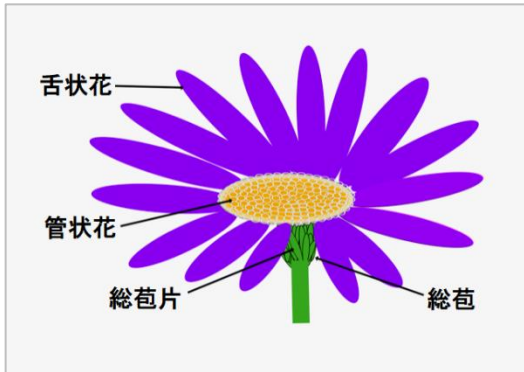
～ キク科キク^あカ^か亜科の植物 ③ ～



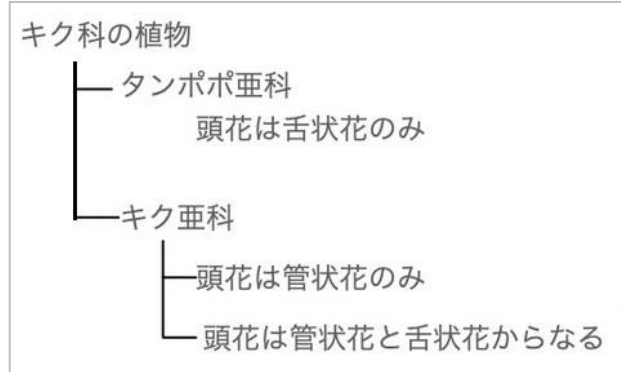
もとよし ふさお
本吉 総男

2024 年 1 月

第72回「[キク科植物の花\(3\)―キク科キク亜科の植物②](#)」の続きです。今回は舌状花ぜつじょうかと管状花かんじょうか（筒状花ともいう）をもつ植物を載せます。ここでも、キク科植物の花の構造とキク科植物の分類の詳細を説明する代わりにこれまで使っていた模式図を載せます。



キク科植物の花とうか(頭花)の基本構造



キク科植物の分類

今回は外国原産で、日本では園芸植物として扱われている（一部野生化しているものもある）キク科植物について述べることにします。

14 ヒマワリ、シロタエヒマワリ、キクイモなど（ヒマワリ属）



ヒマワリ 8月上旬 守谷市本町地区

〜どうこうしよく橙黄色で1列ないし数列並び、豪華に見えますが、雄しべと雌しべがありません。かんじょうか管状花は両性花です。花は8～11月に見られます。

ヒマワリは北アメリカを原産とする一年草ですが、ヨーロッパや中国には16～17世紀に伝わったとされています。日本には17世紀に記録があり、その頃までに伝来したものと思われます。茎は3メートル前後になり、キク科の中でもテイオウダリア（写真は撮っていません）とともに、最も背の高いキク科植物といえるでしょう。とうか頭花の直径は10～30センチと大きく、ぜつじょうか舌状花は黄色



ヒマワリ 7月下旬 わが家の庭

シロタエヒマワリは北アメリカ原産の一年草で、日本には明治初期に渡来したと推定されています。葉や茎が白毛で覆われています。高さは2メートル程度で頭花はヒマワリに似ていますが、直径は7センチ位です。花は7~9月に咲きます。管状花に見られる黄色いものは雄しべの葯(花粉が入っている袋)です。



シロタエヒマワリ 8月上旬 みずき野第2調整池花壇

ヒメヒマワリは北アメリカ南部原産の一年草で、高さ1メートル位です。花期は6~10月。写真の花は葉が対生(葉が向かい合^{たいせい}って2枚出る)で葉のふちはぎざぎざの切れ込みがあり、ヒメヒマワリと思われませんが、花が小ぶりなので確実ではありません。日本への渡来は明治年間のようにです。



ヒメヒマワリ(推定)
6月下旬 みずき野文化財公園下花壇



ヤナギバヒマワリ
10月上旬 みずき野第2調整池花壇

ヤナギバヒマワリはアメリカ原産の多年草で、高さは2メートル前後、頭花の直径は、5~6センチ位、花は9~10月頃に見られます。日本への渡来時期はわかりません。

キクイモは北アメリカ原産の多年草です。高さ2メートル位の大きなキク科植物で、ヨーロッパには17世紀の初めに入り、日本には1860年代に入ったそうです。芋(塊茎^{かいけい})を利用するために栽培されていますが、澱粉を含まず、炭水化物としてイヌリンを含みます。人間にはイヌリンを消化できないのですが、戦時中は食糧として利用されたようです。家畜は消化できるので飼料として使われ、また現在ではダイエット食品(ネットで検索すると、キクイモのレシピがみられます)として利用されています。花は9~10月に咲きます。



キクイモ 9月上旬 守谷市日本町地区



キクイモの芋(塊茎^{かいけい}) 市販品 2月上旬購入

15 ハルシャギクとイトバハルシャギク(ハルシャギク属)

ハルシャギクは北アメリカ原産の一年草で、明治初期に渡来し、園芸種として栽培されたようです。別名はジャノメソウといい、この方が聞き慣れた名でした。近年は野生化して、しばしば大群落をつくります。みずき野第2調整池でもかなり大きな群落をつくっていたことがあります。舌状花の多くは先が黄色で内側は赤褐色ですが、赤褐色のないもの、赤褐色



ハルシャギク
7月中旬 みずき野第2調整池花壇



ハルシャギク 7月中旬 みずき野第2調整池花壇

部分が広いものや、狭いものもあり、変異に富んでいます。高さは1メートル前後で花は6~11月に咲きます。

イトバハルシャギクは北アメリカ原産の多年草で明治年間に渡来したと考えられています。高さは30~60センチ位でぜつじょうか舌状花は黄色。葉が細いのが特徴です。園芸種で、野生化はしていないと思われま



イトバハルシャギク
6月上旬 みずき野第2調整池花壇

ハルシャギク属の中には、もうひとつ特

筆すべき植物があります。**オオキンケイギク**です。オオキンケイギクは北アメリカに原産する多年草で、日本には明治の中ごろ伝来したようです。高さは30~60センチ位ぜつじょうか舌状花もかんじょうか管状花も黄色です。繁殖力が極めて旺盛で、在来種と競合して絶滅させる恐れがあるので、外来生物法により特定外来生物に指定され、抜き取りが奨励されました。

みずき野3丁目の東の傾斜地にもかなり見られ、何年かにわたって抜き取りが行われました。数年前、国道294号の中央分離帯にも密集して生えていたことを思い出します。



オオキンケイギク 5月下旬 みずき野3丁目東傾斜地

16 コスモス と キバナコスモス (コスモス属)

コスモスはメキシコ原産の一年草で、明治9年に東京美術学校に彫刻の教師として招かれたラグーザがイタリアから持参したものが広がり、20世紀に改良が進んだそうです(週刊朝日百科「世界の植物」6号)。高さは2メートル前後で舌状花はピンクが多いですが、白や赤のものも見られます。花期は8~10月頃ですが、6月に咲く品種もあります。アキザクラやオオハルシャギクという別名もあります。野生化しているものもよく見られます。



コスモス 10月上旬 郷州里山の会

キバナコスモスは熱帯アメリカ原産の一年草で、日本には大正年間に渡来したようです。舌状花は黄色ないし橙黄色ですが、赤い品種もあるそうです。高さは30~100センチ、花は6~10月頃咲きます。



キバナコスモス 10月下旬 守谷市本町地区

17 フランスギク と ノースポールギク (フランスギク属)



フランスギク
5月下旬 みずき野8丁目東斜面

フランスギクはヨーロッパ原産の多年草ですが、アジア、アメリカ大陸にも広がっています。日本にはいつ入ったものかわかりませんが、近頃は日当たりの良い場所に群生しています。みずき野でも8丁目東斜面には群落を作っているの、見ている方も多いと思います。高さは30~80センチ、舌状花は白色で、管状花は黄色。花は5~6月頃に見られます。頭花の上にはいろいろな昆虫が訪れます。



ノースポールギク
3月下旬 みずき野中央広場花壇

ノースポールギクは地中海沿岸に原産する多年草ですが、日本では夏を越せないため、一年草として栽培されています。高さは20センチ前後で、舌状花は白、管状花は黄色です。花期は12~5月、冬の間楽しめる植物です。ノースポールの名は原産地とは関係なく、真冬に咲くことや、白い舌状花が群がって咲くことから、北極を連想させるからでしょうか。

18 シュンギク (シュンギク属)

シュンギクの花は散歩道で見たことがありませんが、我が家の庭で咲かせたものを紹介します。シュンギクは地中海沿岸を原産地とする一年草で、日本には室町時代に渡来し、江戸時代に盛んに栽培されるようになったようです。高さは30~50センチ位、舌状花は黄色または先が白色で内側は黄色です。

日本や中国では通常、野菜として栽培しますが、ヨーロッパでは観賞用の園芸植物として栽培しています。



シュンギク
5月上旬 わが家の庭



シュンギク
5月下旬 わが家の庭

19 マーガレット (モクシュンギク属)



マーガレット(推定)
5月中旬 みずき野中央広場花壇

標準和名はモクシュンギクですが、通常マーガレットと呼ばれています。マーガレットはカナリア諸島に原産し、多年草のようにみえますが、茎が木化するので低木という方がいいかもしれません。低木であることがモクシュンギクの名の由来です。17世紀末にヨーロッパに入って、園芸種として栽培されるようになりました。日本には明治時代末に伝わり、以

後いろいろな品種がつくられました。舌状花は通常白色で管状花は黄色です。写真のものは
ぜつじょうか舌状花が濃いピンクで、かんじょうか管状花は黄褐色ないし紅褐色なので、判定が難しかったのですが、
ぜつじょうか舌状花が濃いピンクで、かんじょうか管状花は黄褐色ないし紅褐色なので、判定が難しかったのですが、
 深い切り込みのある葉から、マーガレットと判定しました。マーガレットは5月頃から初夏にか
 けて咲くようです。

20 ジニア (ヒャクニチソウ属)

標準和名はヒャクニチソウで、年配の人には馴染み深い名ですが、近頃は**ジニア**と呼ばれる方が多くなりました。ジニアはメキシコに原生する一年草で、日本には文久2年(1862年)に入ったそうです。ジニアにはいくつかの種しゅがありますが、写真のものはジニア・エレガンスとい
 う種しゅで、日本で見られる多くのものはこの種しゅを改良したものです。花期は5月~11月と長く、ヒャクニチソウと呼ばれるゆえんです。



ジニア 9月中旬 みずき野第2調整池花壇



ジニア 9月中旬 みずき野第2調整池花壇

21 ルドベキア (オオハンゴンソウ属)

オオハンゴンソウ属の代表種である**オオハンゴンソウ**(ルドベキア・ラシニアタ (*Rudbeckia laciniata*))は北アメリカの原産で高さ1~3メートルの多年草。明治時代に園芸植物として日本に導入されました。しかしその後、日光の戦場ヶ原、青森の奥入瀬溪流、その他日本の重要な湿地帯や河川敷で盛んに繁殖し、在来種と競合して貴重な植物が失われる可能性があり、外来植物法で特定外来生物に指定されて駆除の対象になっています。みずき野周辺では見たことがありませんが、今後注意すべき植物です。

ルドベキアという名で流通している植物にはいろいろな品種があります。写真の植物もルドベキアの一様で、ミツバハンゴンソウという園芸種です。上記のルドベキア・ラシナータではなく、ルドベキア・トリローバ (*Rudbeckia triloba*)です。北アメリカに原産する越年草で60~150センチほどに生長します。開花期は6~9月頃。舌状花は黄色、管状花は黒褐色です。こちらは特定外来生物には指定されていません。



ルドベキア(ミツバハンゴンソウ)
8月上旬 みずき野文化財公園下花壇

ルドベキア・ヒルタ (*Rudbeckia hirta*)も園芸植物として栽培されています。北アメリカ原産の多年草で、日本には明治時代の中頃に入ったとされています。ルドベキア・ヒルタの別名をアラゲハンゴンソウと記載した文献をよく見ますが、アラゲハンゴンソウはルドベキア・ヒルタの垂種 (*Rudbeckia hirta* var. *pulcherrima*)で、ここでいうルドベキア・ヒルタとは別の植物です。



ルドベキア(ルドベキア・ヒルタ)
8月上旬 みずき野文化財公園下花壇



(参考)ルドベキア(アラゲハンゴンソウ)
7月上旬 帰化植物見本園(都立木場公園内)

22 ブルーデージー（フェリシア属）

ブルーデージーと呼ばれて通常栽培されているものは主に3種あります。フェリシア・アモエナ^{しゅ} (Felicia amoena)、フェリシア・アメロイデス (Felicia amelloides)、フェリシア・ヘテロフィラ (Felicia heterophylla)です。どれもよく似ていますが、写真のものは花と葉の形から、フェリシア・アメロイデスと推定しました。

ブルーデージーと呼ばれる植物はどれも南アフリカ（主としてケープ地方）に原産し、他国では園芸植物として栽培されています。日本にはいつ頃入ったかはわかりませんが、比較的近年のことかと思われます。フェリシア・アメロイデスは本来は低木ですが、日本では夏を越すことが困難なので、越年草または一年草として栽培されています。高さは30～50センチ。花は3～5月および10月頃に見られます。



ブルーデージー（フェリシア・アメロイデスと推定）
4月下旬 みずき野中央広場花壇

23 ユリオプスデージー（ユリオプス属）

ユリオプスデージー（学名 ユリオプス・ペクチナタス *Euryops pectinatus*）は南アフリカのケープ地方を原産とする常緑低木です。日本に入ったのがいつ頃かわかりません。みずき野や周辺では見たことはありませんが、公園や庭園ではよく見かける植物です。高さは1メートル内外、舌状花も管状花^{ぜつじょうか かんじょうか}も黄色です。数年前まで我が家に庭にありましたが、残念ながら枯らしてしまいました。花期は11～5月頃、1～2月のほとんど花のない季節にもよく開花するので、ありがたい植物でした。



ユリオプスデージー 1月上旬 わが家の庭

24 マリゴールド（コウオウソウ属）

マリゴールドと呼ばれる園芸植物にはアフリカンマリゴールドとフレンチマリゴールドの2種しゅがあり、ともにメキシコ原産の一年草です。アフリカンマリゴールドは16世紀前半にアフリカに入って野生化したことから、アフリカンマリゴールドと呼ばれるようになりました。日本への渡来時期は不明です。フレンチマリゴールドは16世紀後半にメキシコからスペインを経てフランスに入り、園芸植物として栽培されるようになり、日本には17世紀後半に渡来しました。アフリカンマリゴールドは、高さ45～75センチ、頭花とうかの直径は5～10センチ。一方、フレンチマリゴールドは高さ30～45センチ、頭花とうかの直径は2.5～3センチで、アフリカンマリゴールドより小ぶりです。以上は主として週刊朝日百科「世界の植物」6号を参考にしました。



フレンチマリゴールド
10月中旬 みずき野第2調整池花壇

写真の植物はフレンチマリゴールドです。花期は7月～11月、舌状花ぜつじょうかは赤橙色せきとうしよくで多列あり、管状花かんじょうかは橙黄色とうこうしよくです。

25 カレンデュラ（キンセンカ属）

キンセンカとしてよく知られている植物は近頃カレンデュラ（学名上の属名）と呼ばれることが多くなりました。キンセンカは地中海沿岸に原産する植物で、ヨーロッパでは鑑賞用に栽培され、また利尿などの薬草としても使われているようです。日本には中国を経て17世紀に伝わったとされています。高さは20～50センチ位、舌状花ぜつじょうかは黄色～赤橙色せきとうしよく、管状花かんじょうかは黄色～褐色で、花期は3～5月頃です。学名をカレンデュラ・オフィシナリス（*Calendula officinalis*）といいます。写真はカレンデュラと推定しましたが、確実ではありません。近縁種のデモルフォセカ（アフリカキンセン



カレンデュラ（推定）
3月下旬 みずき野第1調整池花壇

カ) (写真は撮っていません)にも似ていますが、デモルフォセカぜつじょうかの舌状花はカレンデュラより少ないようです。

カレンデュラと呼ばれている植物には、もう1種あります。学名をカレンデュラ・アルヴェンシス (Calendula arvensis) といい、和名をヒメキンセンカといいます。キンセンカと同様、原産



カレンデュラ(冬知らず)
3月下旬 みずき野第1調整池花壇

地は地中海沿岸です。日本に入ったのはキンセンカ渡来の前と後の両説があり、はっきりしたことはわかりません。越年草で11~4月頃開花します。高さは20センチ前後。園芸植物として栽培されていますが、帰化植物として道ばたにも繁殖しています。写真に載せたものは「冬知らず」という品種で、耐寒性が強く、冬に目立つ植物です。

26 オステオスペルマム (オステオスペルマム属)

オステオスペルマムはアフリカ南部原産の多年草で、上記のカレンデュラやデモルフォセカぜつじょうかに近縁の植物で、日本への渡来時期は不明ですが、園芸植物として栽培されています。たいへん多くの品種があり、舌状花が一重または二重の品種が多いのですが、八重咲きの品種もあります。上記デモルフォセカとは非常によく似ており、識別が困難です。



オステオスペルマム
5月中旬 わが家の庭



オステオスペルマム
5月中旬 みずき野中央広場花壇

左の写真はオステオスペルマムとして購入して庭で育てたもの、右は中央広場の花壇で撮影したもので、オステオスペルマムの一品種と思われます。

27 ガザニア（ガザニア属）

ガザニア属の植物はいずれも南アフリカ原産で20種ほどあるそうです。ヨーロッパではそのうち何種かが園芸種として利用され、交配などによっていろいろな品種がつけられました。日本への渡来は大正年間と推定されています。

日本ではいずれの品種もガザニアという名で販売されています。多年草として栽培されるものもあり、本来は多年草であるが、夏の暑さに弱く、一年草として栽培されるものもあります。高さは30センチ前後、花期は長く、4月～10月頃。^{ぜつじょうか}舌状花の派手なものが多いようです。



ガザニア 5月下旬 みずき野中央広場花壇



ガザニア 4月中旬 わが家の庭

28 カモミール（シカギク属）

標準和名はカミツレですが、カモミールという別名の方がよく知られています。ヨーロッパ原産の一年草で、日本には江戸時代末に伝来したそうです。園芸植物または生薬^{しょうやく}として輸入されたものと思いますが、現在は野原や道ばたに野生化しています。高さは30～



カモミール 5月中旬 みずき野第2調整池

60 センチ位、花は 4~11 月頃咲きます。
ぜつじょうか かんじょうか ぜつじょうか
 舌状花は白く、管状花は黄色で、舌状花
 は開花が進むにつれて、下に傾きます。

カモミールのとうか頭花を摘み取って熱湯を注ぐと、ハーブ・ティー（カモミール・ティー）になります。カモミールにはいろいろな薬効（胃炎、生理痛、食欲不振、その他いろいろ）があり、特にヨーロッパではよく飲まれています。



カモミール 4月中旬 みずき野7丁目

私の手元に Beatrix Potter 著 “The Tale of Peter Rabbit” F. Warne & Co. Ltd. (ピーターラビットの物語) があります。ピーターは4匹の兄弟の末っ子で、大きなモミノキの下の穴にお母さんウサギと一緒に住んでいます。お母さんは、子供たちに「外に遊びに行ってもいいけれど、マックグレガーさんの庭には決して入ってはいけませんよ。あなたたちのお父さんは、そこでマックグレガーさんに捕まって、マックグレガーさんの奥さんにパイの材料にされてしまったのですよ」とさとししました。ところがピーターは禁を破って、マックグレガーさんの庭に入り込み、レタスやインゲンマメやハツカダイコンなどを食べていたところ、とうとうマックグレガーさんと出会ってしまい、追いかけられます。ピーターは全速力で逃げて、幸いモミノキのすみかに辿り着きましたが、疲れ果てて倒れてしまい、お母さんはピーターをベッドに寝かせて、スプーン1杯のカモミール・ティーを飲ませます。

カモミールを見ると、この物語を思い出します。



なお、Beatrix Potter (1866-1943)の原作はパブリック・ドメインになっています。